

**青果ネットカタログ「SEICA」
活用セミナー**

NTT栽培管理システムとSEICAの連携

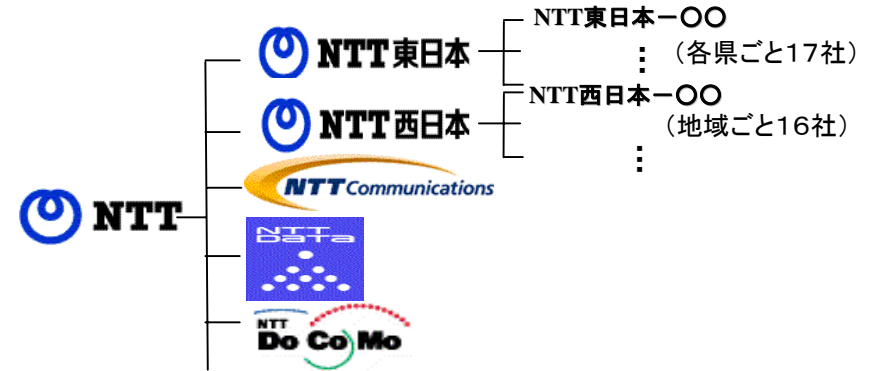
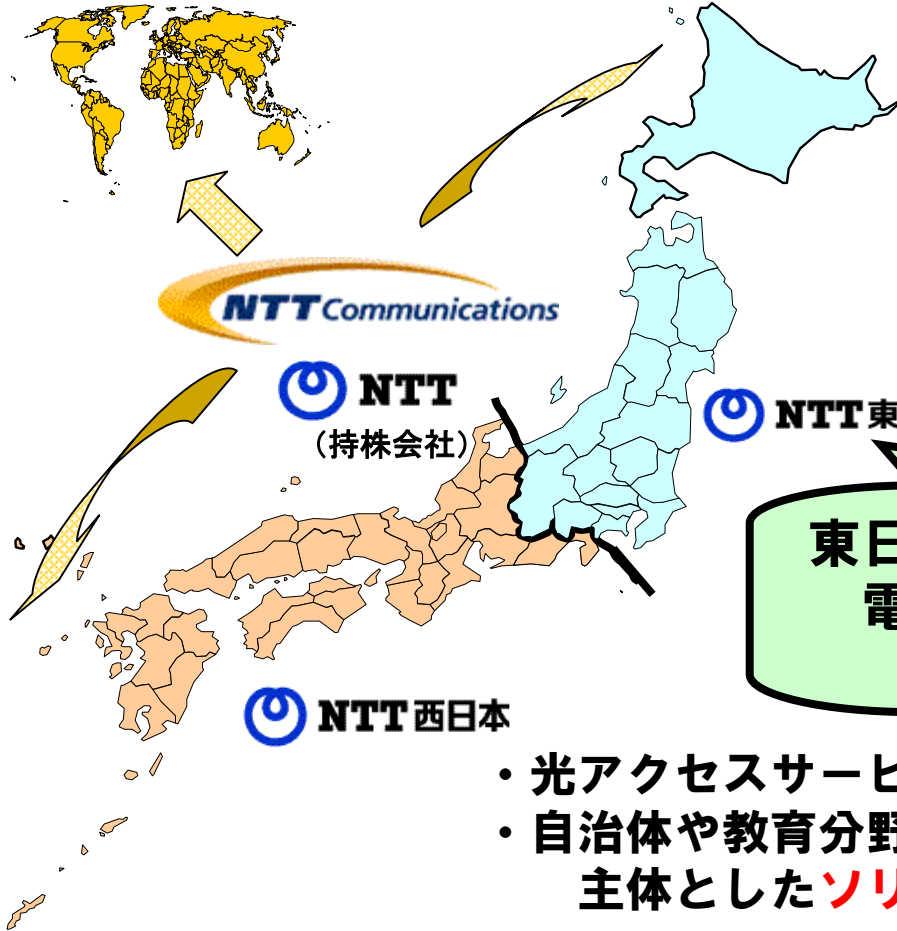
平成19年7月27日

**東日本電信電話株式会社
ビジネスユーザ事業推進本部
ビジネス営業部**

小松健司

NTT東日本のご紹介

(平成19年3月現在)



東日本エリアに密着し、
電話やインターネットなど
多彩な電気通信サービスを提供

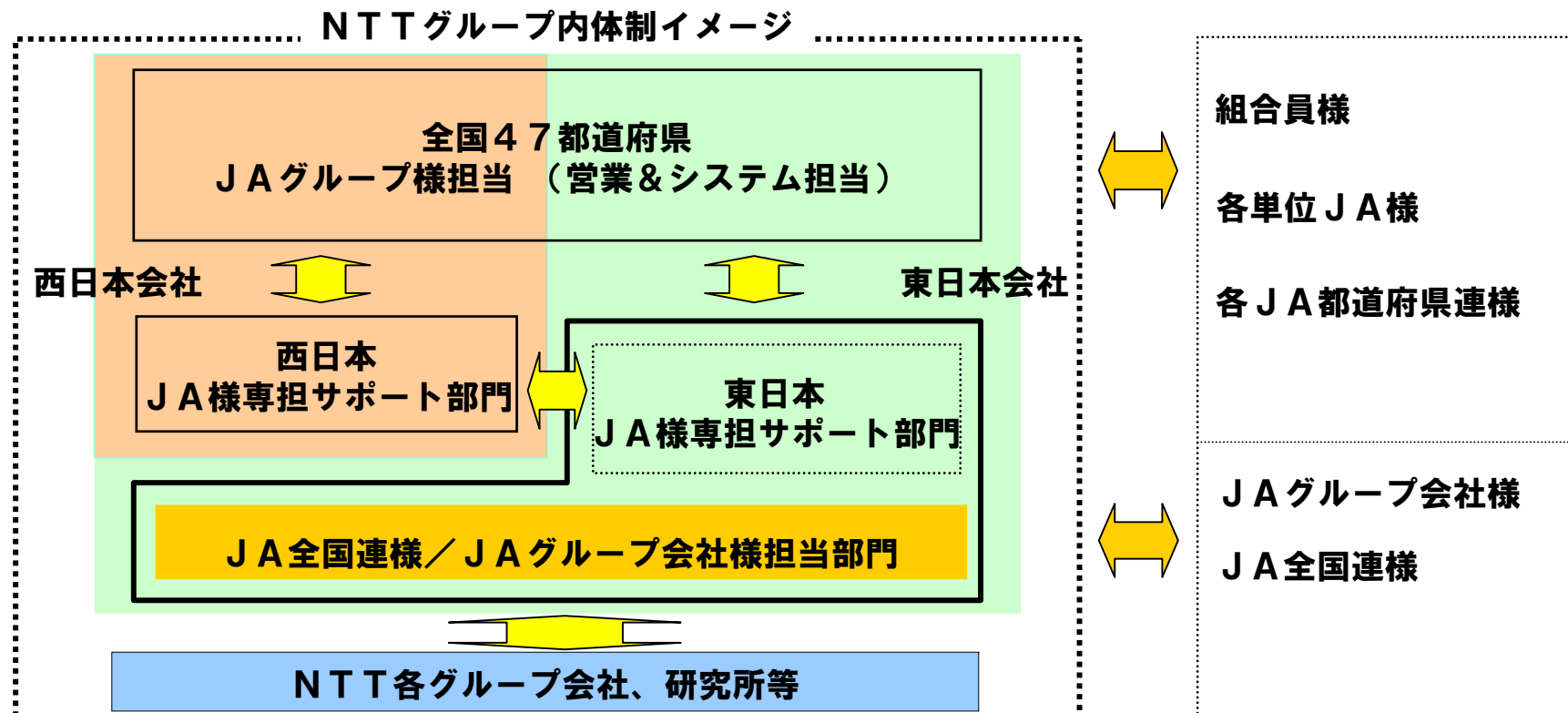
- ・ 光アクセスサービスを中心とした**ブロードバンドビジネス展開**
- ・ 自治体や教育分野などへシステムインテグレーションを主体とした**ソリューションビジネスを推進**

光トリプルプレイ 光1本で、3つのサービス！			ブロードバンド映像サービス
高速インターネット	電話	TV・映画	

Business Ether

NTTグループの農業分野への取り組み体制

- NTTグループの農業分野における取り組みは20年以上の歴史があり、JAグループ様への情報通信サービスを提供が原点
 - 地域会社（NTT東・西）47都道府県各支店にJAグループ様担当配置
 - 東・西会社本社にJAグループ様専担部門設置
 - JA全国連様を東日本会社本社を窓口とし、NTTグループ各社と連携



平成15年頃 食の安全・安心に関する社会的な動き

- O-157、BSE、偽装表示事件など問題発生により、**食品の安全性や品質に対する消費者の関心が高まった**

行政の対応

■ e-Japan戦略II 食

- 1. トレーサビリティシステムの構築による**豊かで安心できる食生活の実現**
- 2. 食品の取引の電子化、農林漁業経営のIT化による**消費者利益の増大**

トレーサビリティ導入を強力に推進

■ トレサビガイドラインの策定

- 食品のトレーサビリティシステム導入の手引き
- 国産牛肉トレーサビリティ導入手引書

15年度 農水予算
トレーサビリティシステムの開発・実証事業 4億円
トレーサビリティ導入促進事業 25億円

品目別のガイドラインも策定

社会基盤としてのトレーサビリティシステム作りが進む

当時のJAグループ様 食の安全・安心の取組み

第23回JA全国大会議案より抜粋

1. 食の安全・安心

(1) 問題認識とJAグループの基本方針

偽装表示問題や無登録農薬問題を契機とした安全・安心への危機感の強まり



「信頼」：消費者に信頼される農産物の提供とこれを通じた自給率の向上

(2) 重点実施事項

ア. 生産・流通段階の安全・安心の取組み

■ 生産工程の管理・記録、流通・加工段階の品質管理の徹底

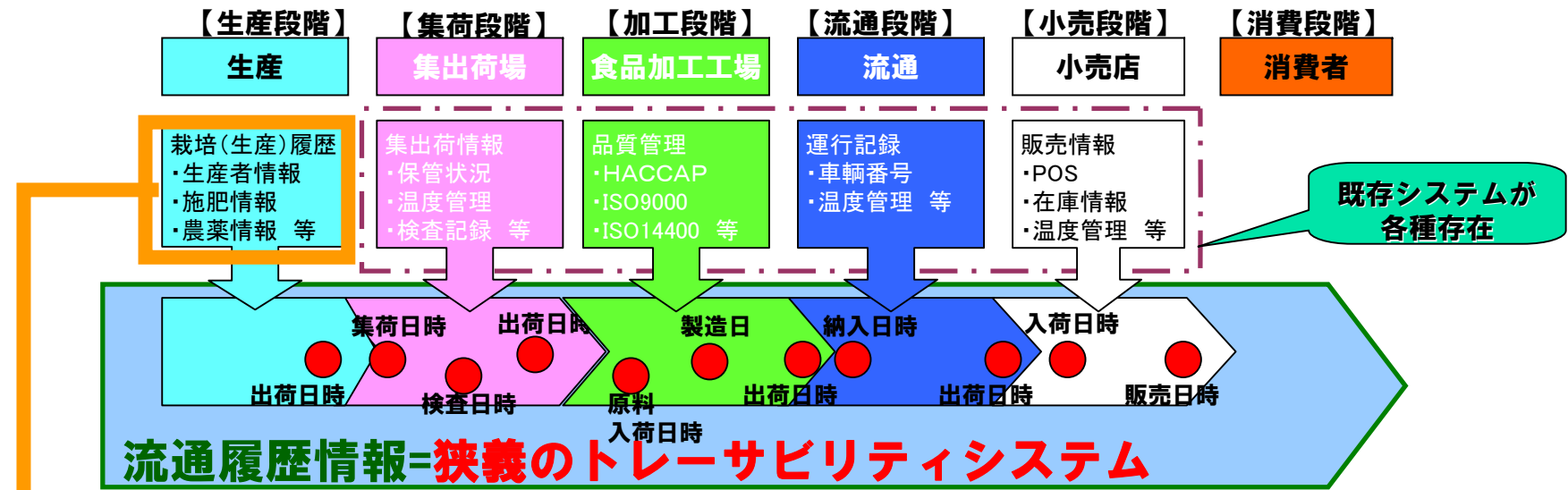
- 米については生産工程が管理・記録されたもののみを「JA米」として位置付けて販売
- 残留農薬の検査等JAグループの検査体制の確立

イ. マーケティングに基づく地域農業の活性化

- 消費者との対話・交流の促進

平成14年より「生産工程管理・**記帳運動**」を展開

当時想定していた食品トレーサビリティの構造



■ 栽培履歴（生産履歴）

農産物の安全管理情報

- 農産物を誰が、いつ、どこで、どんな農薬・肥料をどれだけ使って栽培したのかを作付した品種・品目ごとに記録

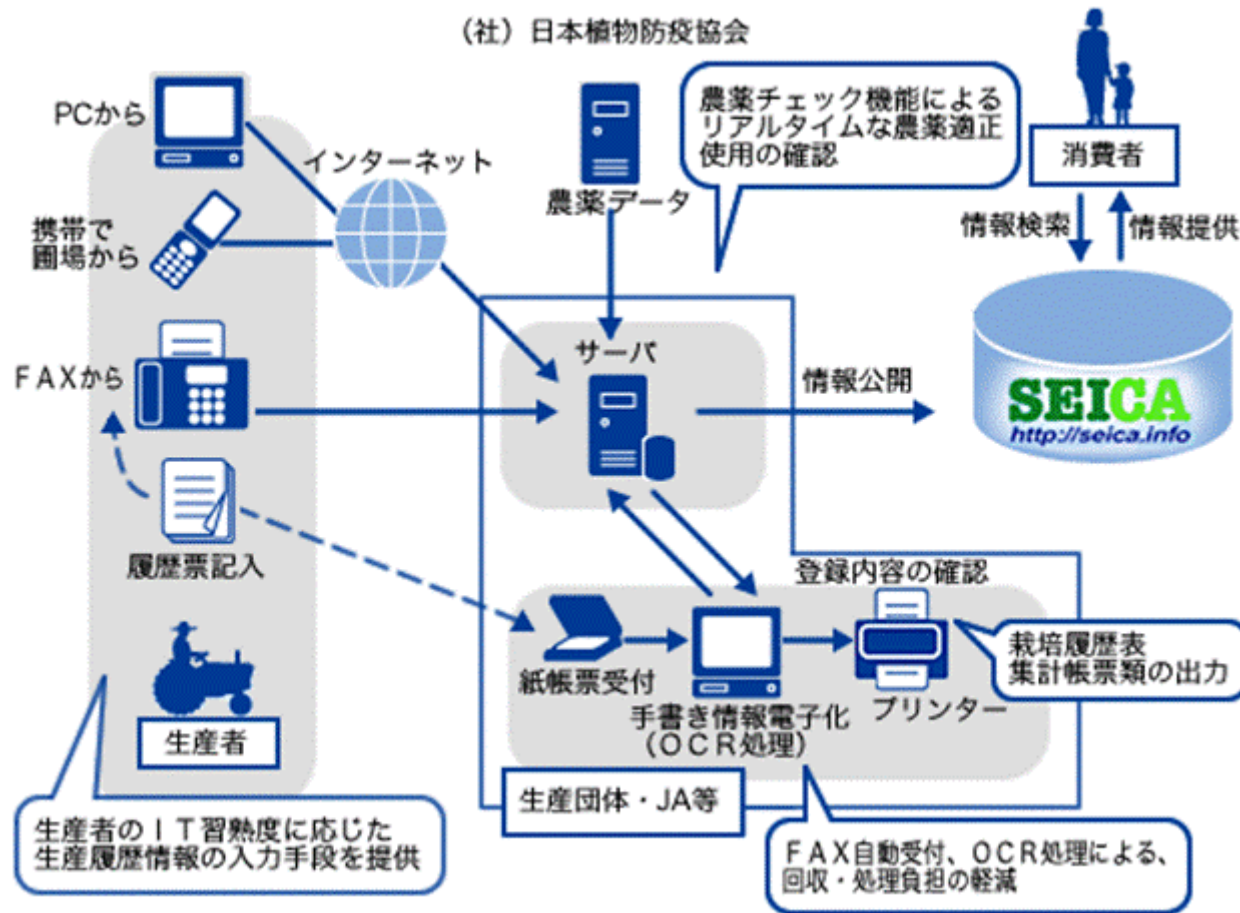
食の安全・安心の出発点

農業の生産段階では、安全管理情報の収集が「紙ベース」で進んでいた。

収集した情報を電子化し、各段階へ渡す仕組みが必要

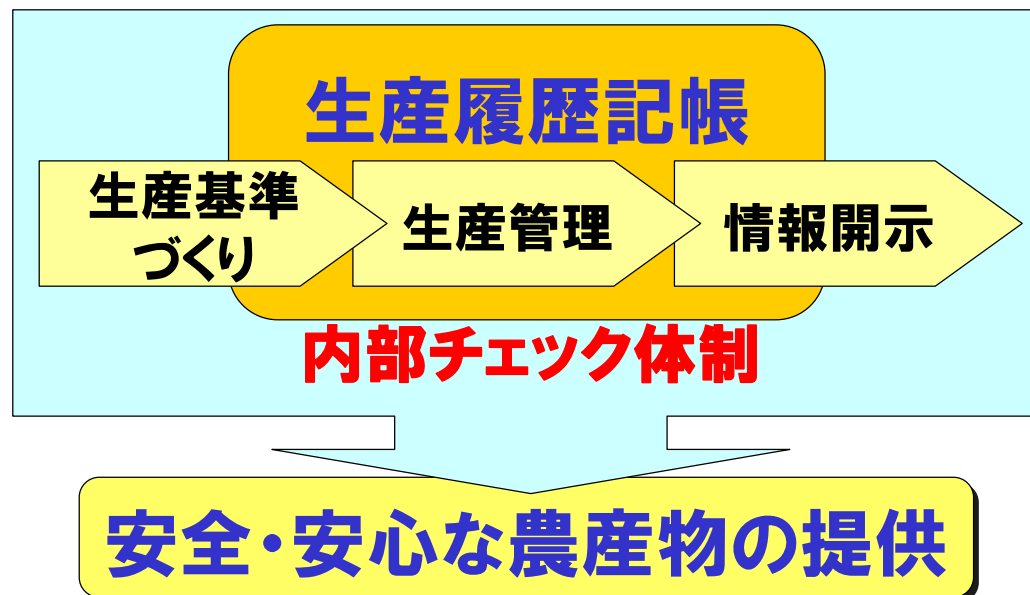
N T T 栽培管理システムとは

- 生産者様と生産団体様をむすぶネットワークを活用した農産物生産履歴栽培管理システムです。



システムの目的

- 適切な生産管理と生産履歴記帳の徹底と
改正食品衛生法(ポジティブリスト制)への対応
- システムの目標
 - 農薬の適正使用の証明としての記帳内容の信頼度向上
 - 農薬取締法にもとづく登録情報の提供
 - 生産履歴記帳の内部チェック体制強化
 - 蓄積した記帳データの活用

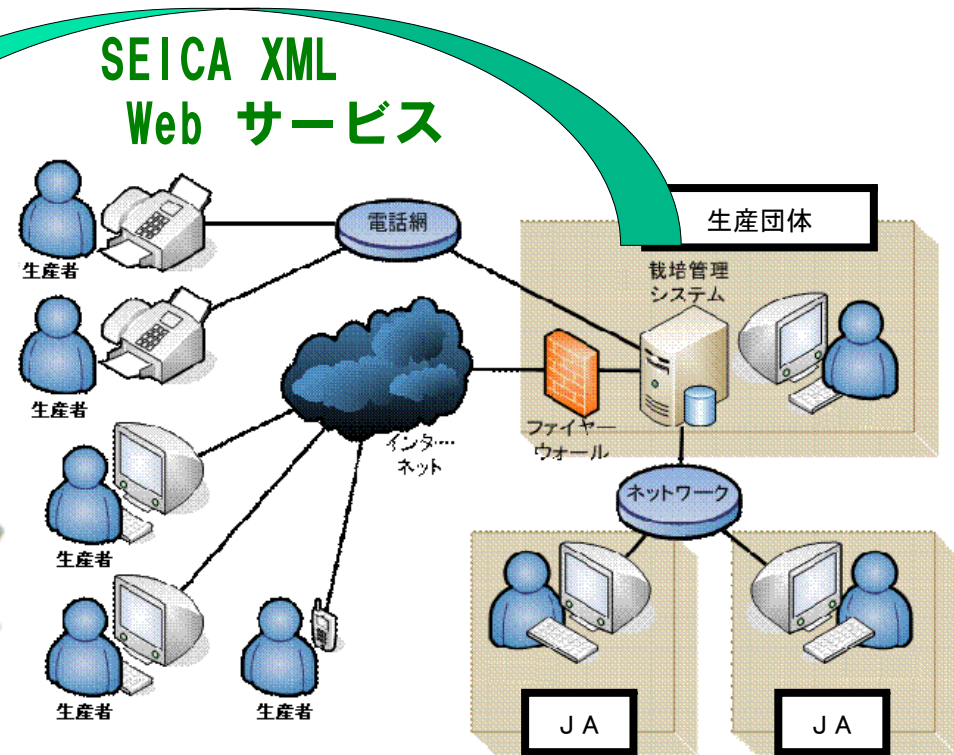


情報公開機能 (平成19年4月リリース)

- 登録された栽培履歴情報をSEICAネットに公開する。



SEICAネットイメージ



NTT栽培管理システムイメージ

情報公開にSEICAを選んだ理由

- **手軽に情報公開を始めれる**
 - 生産者自身が生の声や詳しい情報を簡単に公開できる
 - いつでも登録後からすぐ使え、しかも無料！
 - 公開情報が定型化されており、更新がしやすい
- **独自公開サーバが不要**
 - セキュリティや維持管理リスクを低減できる
 - 初期投資を抑え、活用度合いに応じてStep upできる
- **消費者・流通業への認知**
 - 産地カタログポータルとして知名度
 - 商品へのSEICAコードの貼付

機能概要

- **カタログ情報メンテナンス**
 - SEICAカタログNoと圃場と紐つけて登録管理する。
- **栽培履歴情報公開**
 - 栽培履歴を検索・選択して、SEICAネットのカタログ情報を更新する。
 - SEICAの登録内容と栽培履歴の内容を比較表示し更新する。
- **情報自動公開**
 - カタログに紐付く栽培履歴において出荷情報が登録されると最新の履歴情報をSEICAに自動的に公開する。

(参考) 情報公開状況画面

SEICAカタログ情報検索

検索条件指定

品目 種類

栽培計画名称

認証区分

支店名

地区名/部会名

組合員コード

組合員名

作業時期 ~

状態 生産中 生産終了

検索 リセット

検索結果一覧

カタログNo. で 一覧

56件中 1-10件表示

公開	カタログNo.	公開状況	親国場	子国場	品目	品種	栽培計画名称	認証区分	生産終了日	支店名	地区名/部会名	組合員コード	組合員名
公開	0000210	公開済み	親国場1	子国場1	稲	水稲	ササニシキ特産	特産	2005/10/12	第4支店	ササニシキ部会	00000001	阿部清明
公開	0000221	公開済み	親国場1	子国場2	稲	水稲	小粒特産	特産	2005/10/12	第4支店	小粒特産部会	00000001	阿部清明
公開	0000222	公開済み	親国場1	子国場3	ししとうがら	ミニし唐辛子	ミニし唐辛子	特産	2005/10/12	第4支店	しし唐辛子部会	00000021	渡神明
公開	0000227	公開済み	親国場1	子国場4	ししとうがら	香しし唐辛子	香しし唐辛子	特産	2005/10/12	第4支店	しし唐辛子部会	00000021	渡神明
公開	0000234	公開済み	親国場1	子国場5	ししとうがら	しし唐辛子	しし唐辛子	特産	2005/10/12	第4支店	しし唐辛子部会	00000021	渡神明
公開	0000219	公開済み	親国場1	子国場6	稲	水稲	ササニシキ特産	特産	2005/10/12	第4支店	ササニシキ部会	00000211	堂塚達夫
公開	0000222	公開済み	親国場1	子国場8	ししとうがら	ミニし唐辛子	ミニし唐辛子	特産	2005/10/12	第4支店			
公開	0000227	公開済み	親国場1	子国場9	ししとうがら	香しし唐辛子	香しし唐辛子	特産	2005/10/12	第4支店			
公開	0000234	公開済み	親国場1	子国場10	ししとうがら	しし唐辛子	しし唐辛子	特産	2005/10/12	第4支店			

1 2 3 4 5 2次20件

商品情報

カタログNo. 0000234

生産者情報

生産者名: 阿部清明

品名: 稲

品種: 水稲

栽培計画名称: ササニシキ特産

認証区分: 特産

生産終了日: 2005/10/12

支店名: 第4支店

地区名/部会名: ササニシキ部会

組合員コード: 00000001

組合員名: 阿部清明

取得済みカタログ番号をユーザシステム側で一元管理

(参考) カタログ情報更新画面

SEICAカタログ情報更新

SEICAカタログ情報を更新する場合は入力欄に変更値を入力し、「公開」欄のチェックを選択します。
 ※「公開」欄のチェックが選択されていない項目は更新されません。
 ※項目の内容を削除する場合は入力欄に空欄にも入力せずに「公開」欄のチェックを選択します。ただし必須項目は削除されません。

更新前	入力情報	更新	説明
カタログ№	00000666		更新するSEICAのカタログ№です。
生産物情報			
区分種	葉菜類		変更できません。変更するにはSEICAネットの「 商品種別・用途 」を参照してください。
中分類	ほうれん草		変更できません。変更するにはSEICAネットの「 商品種別・用途 」を参照してください。
品名	ほうれん草	ほうれん草	※ 栽培計画の品目(ほうれん草)がSEICAカタログに登録されている必要があります。 変更するにはSEICAネットの「 商品種別・用途 」を参照してください。
品種(必須)	ほうれん草 サカタのほうれん草	ほうれん草	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培履歴情報が自動で読み込まれます。
栽培面積(必須)	10 アール	10 アール	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培履歴情報が自動で読み込まれます。
栽培区分(栽培区分)	普通栽培	普通栽培	※ 栽培計画の栽培区分(普通栽培)がSEICAカタログに登録されている必要があります。 変更するにはSEICAネットの「 商品種別・用途 」を参照してください。
認証(必須)	なし	なし: あり:	<input type="checkbox"/>
病害虫防除			
使用回数	殺菌剤	10	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培履歴情報が自動で読み込まれます。 ※ 殺菌剤、殺虫殺菌剤以外の用途の農薬は回数に含まれません。
	殺虫剤	3	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培履歴情報が自動で読み込まれます。 ※ 殺菌剤、殺虫殺菌剤以外の用途の農薬は回数に含まれません。
	除草剤	21	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培履歴情報が自動で読み込まれます。 ※ 殺菌剤以外の用途の農薬は回数に含まれません。
名前	日産コマイン	キングホールドエール乳期	
	属性(産地)	普通物	

履歴とSEICA公開情報を比較 自動登録も可能

SEICA連携での今後の課題

■ 品目の考え方

- 青果標準コードと農薬適用作物名の違い
 - SEICAでは「ほうれん草」、農薬取締法「ほうれんそう」
->今のところ確認表示
 - SEICAカタログと履歴の品目が異なる場合は自動公開しない。

■ 使用薬剤の考え方

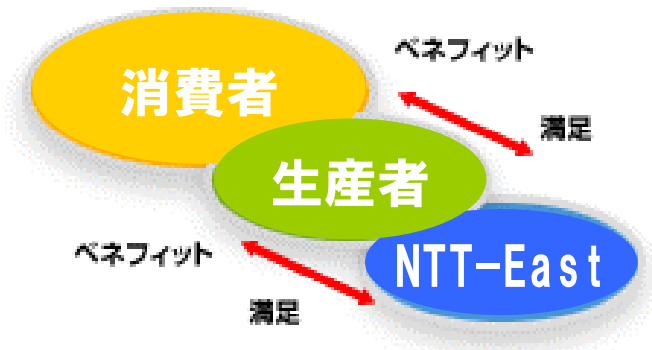
- 公開可能な作業は3つまで（あとはその他）
 - 新しい順に3つまでを表示

■ 更新する担当者

- 現在はシステム運用管理者のみ

まとめ

- **生産者様の情報を消費者に伝えるために・・・**
 - 農作物の生産に携わっている方々は、丹精こめて生産した農作物で消費者様によりいっそうのご満足を提供することを目的としているはずです。
 - NTT東日本は、地域密着での体制により、ご愛顧いただいている通信サービスはもちろん、産地と消費地をつなぐ農業情報を流通させる企業として、
- 産地の「ファンをつくる仕組みづくり」 & 「売れる仕組みづくり」をお手伝いします。



ネットワークを活用して農産物の生産工程を管理

栽培管理システム

農産物の生産に携わる方がインターネットを活用し、農産物の生産工程の履歴情報を登録することで、農産物の生産工程管理を実現するシステムです。農薬の適正利用診断や消費者向けの情報提供に活用することで、食の安全安心を支えます。



こんなことができます!

いつでも簡単に履歴登録

紙ベースの登録はもちろん、パソコンや携帯からでも登録できます

適正農薬の自動チェック

生産者が生産履歴を投入すると同時に適正農薬のチェックをします

農薬データの自動更新

JPP-NETと連動し、自動で最新の農薬データを参照します

外部への情報公開

青果ネットカタログ「SEICA」にて情報を公開することができます

ネットワークで連携

複数拠点のデータもネットワークで一元管理することができます



こんなメリットが生まれます!

営農指導へも活用可能

登録情報もリアルタイムで管理できるため、営農指導にも活用できます

出荷前の安全・安心確認

万が一不適切な農薬の利用があっても、出荷停止や圃場の特定ができます

データ更新管理不要

データ更新する手間が省け、常に最新の農薬データが利用できます

流通業者、消費者へのPR

「SEICA」は誰でも参照可能。流通業者、消費者と産地をつなぎます

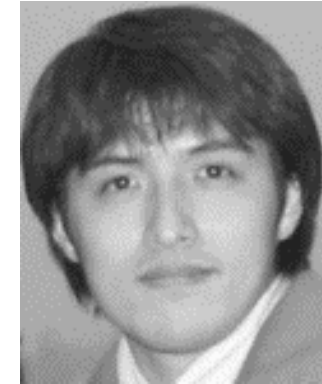
柔軟な導入・運用

事業所単位でも、大規模生産団体様や県域一括でも導入・運用できます

講演者プロフィール

■ 小松 健司（こまつ けんじ）

東日本電信電話株式会社 ビジネスユーザ事業推進本部
ビジネス営業部 アグリ営業担当 課長代理



■ 略歴

- 北海道出身 JA職員の父と果樹農家の母の元に生まれる
- 1996年 日本電信電話株式会社 入社
 - 札幌支店マルチメディアビジネスセンタ
 - 個人・中小事業者様向け、ISDN・インターネット接続技術支援
- 1999年 同社法人営業本部へ異動
 - 同年7月東日本電信電話株式会社へ組織移行
 - 流通・サービス業担当システムエンジニアとして、カジュアル衣料チェーン様向けECサイト構築、旅行代理店様ブロードバンドネットワーク化などに従事
- 2003年 現職
 - 農産物トレーサビリティソリューション、栽培管理システムや農薬利用支援システムの商品主管として企画、開発、販売推進に従事
 - 食品トレーサビリティシステム標準化推進協議会、JGAP指導員

■ NTT東日本 農業関連ソリューション お問い合わせ先

agri-info@ml.bch.east.ntt.co.jp
電話 (03) 3830-9171